

5 交差点事故



死亡・重傷事故の事故事例（交差点）

交差点事故

事例 大阪市住之江区 平成28年6月4日

府道29号線の信号交差点において、トレーラが交差点を左折した際、横断歩道を左側から横断していた車いす利用者等と接触。車いす利用者1名が死亡、車いすを押していた歩行者1名が重傷。



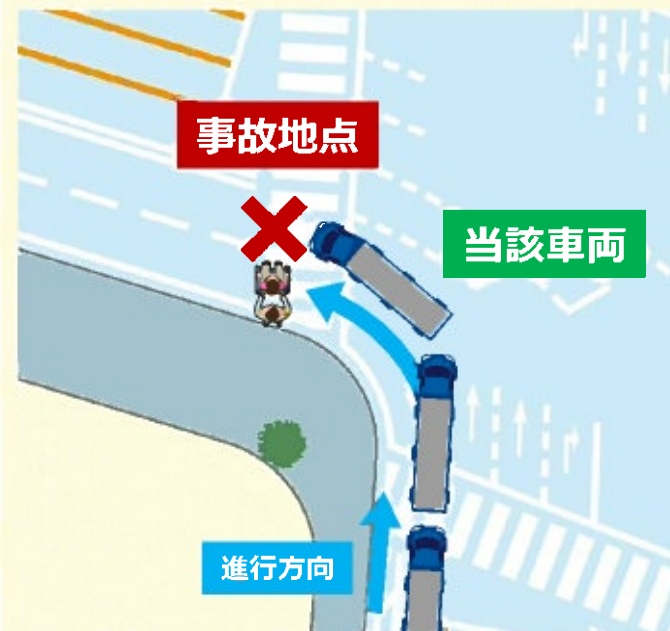
背景

運転者

- 運転者は、右方の自転車に気を取られ、**左方の安全確認を十分に行わなかった**

事業者

- 同運転者の適性診断結果を踏まえた**指導・教育が実施できていなかった**
- 事業者自身は多くの改善基準告示違反が認められ、**適切な労務管理・運行管理が行われていなかった**



出典：国土交通省 事業用自動車事故調査委員会報告書 大型トラックの衝突事故 <https://www.mlit.go.jp/jidosha/anzen/jikochousa/report1.html>

死傷事故1,000件当たりの死亡・重傷事故発生件数

交差点事故

死亡・重傷事故は自動車全体と比べ、**左折時は約5倍**発生しやすい



計算方法

左折時 死亡・重傷事故発生件数 ÷ 死傷事故発生件数 × 1,000

交差点左折時の事故の特徴

交差点事故

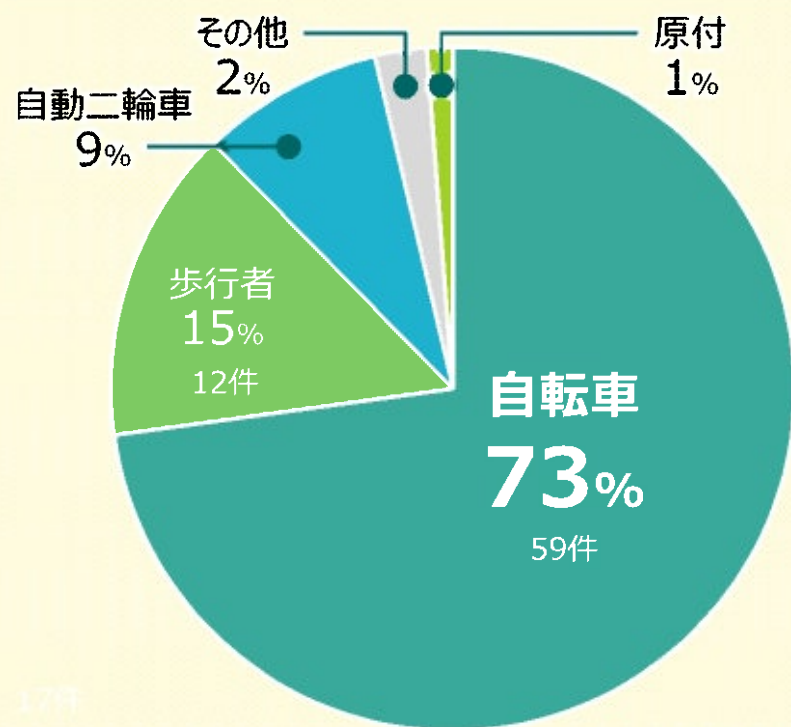


左折時

交差点「左折時」の死亡・重傷事故の被害者

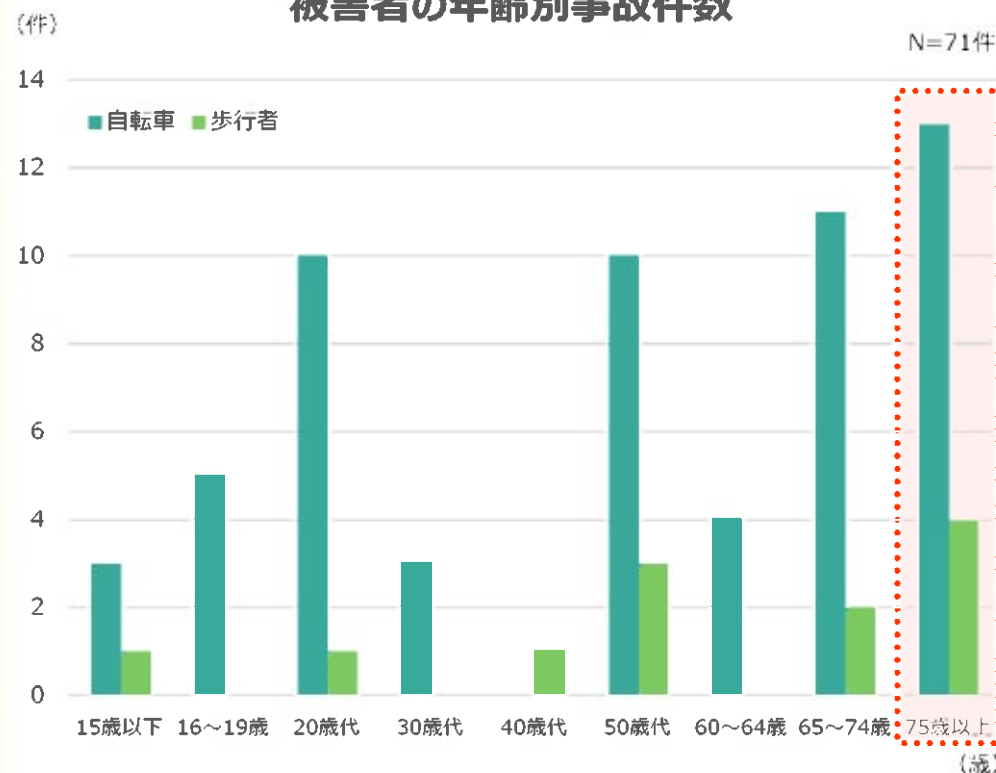
左折時死亡・重傷事故では**自転車**との事故が**73%**
歩行者、自転車ともに**75歳以上**が最も多い

左折時の被害者分類



N=81件

被害者の年齢別事故件数



N=71件

(歳)

交差点直進時の事故の特徴

交差点事故



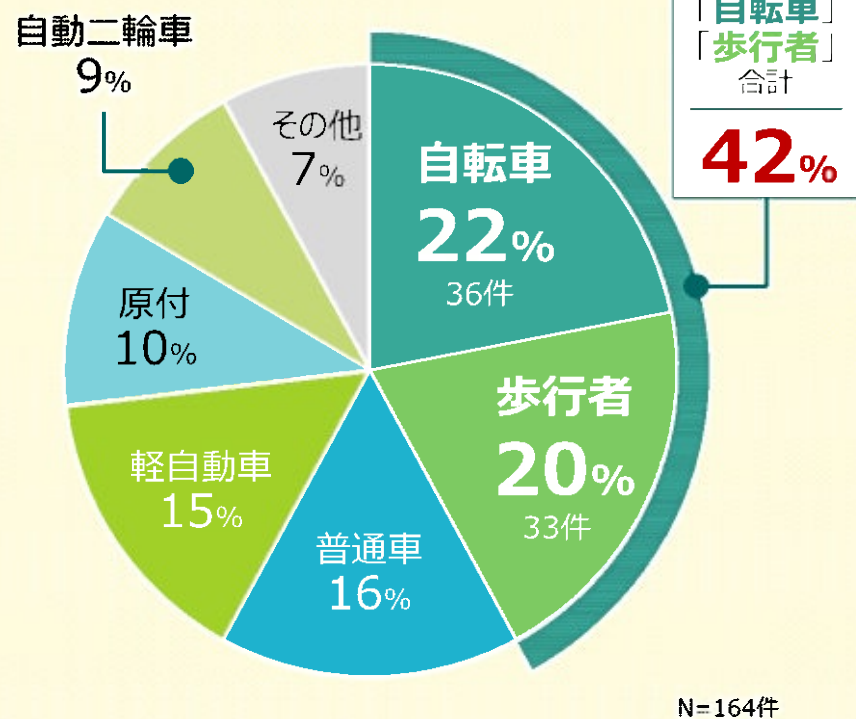
直進時

交差点「直進時※」の死亡・重傷事故の被害者

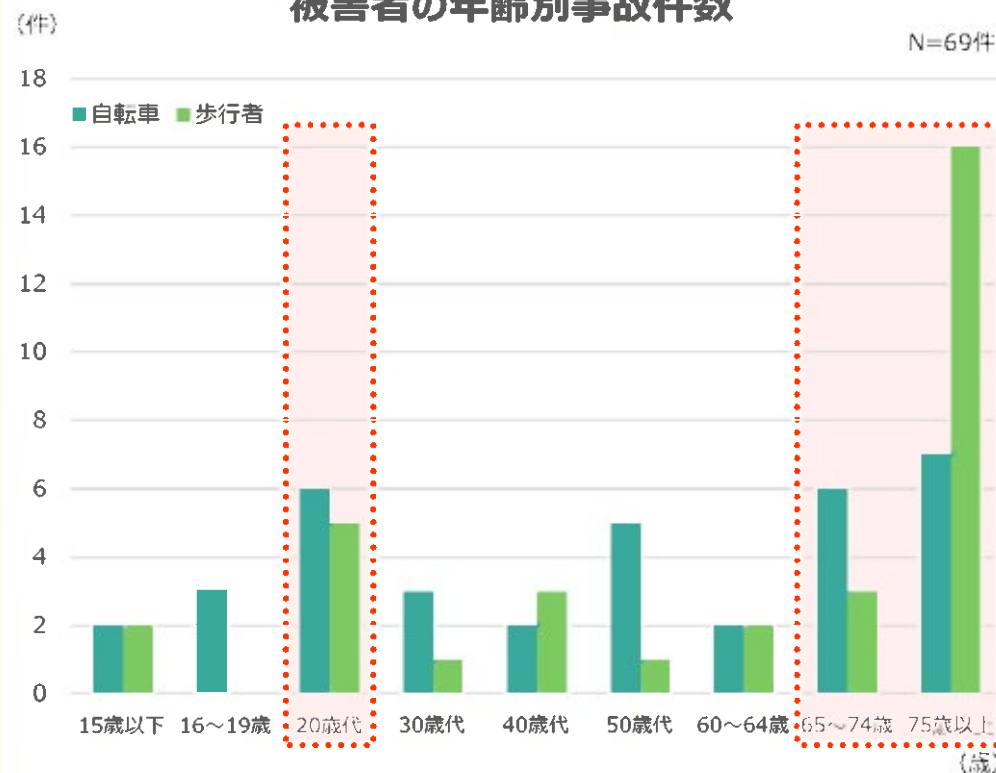
※発進、追越・追抜、進路変更、その他を含む

直進時の死亡・重傷事故では**自転車および歩行者との事故が42%**
歩行者は**75歳以上**が半数を占め、自転車は**20歳代と65歳以上**が多い

直進時の被害者分類



被害者の年齢別事故件数



交差点右折時の事故の特徴

交差点事故

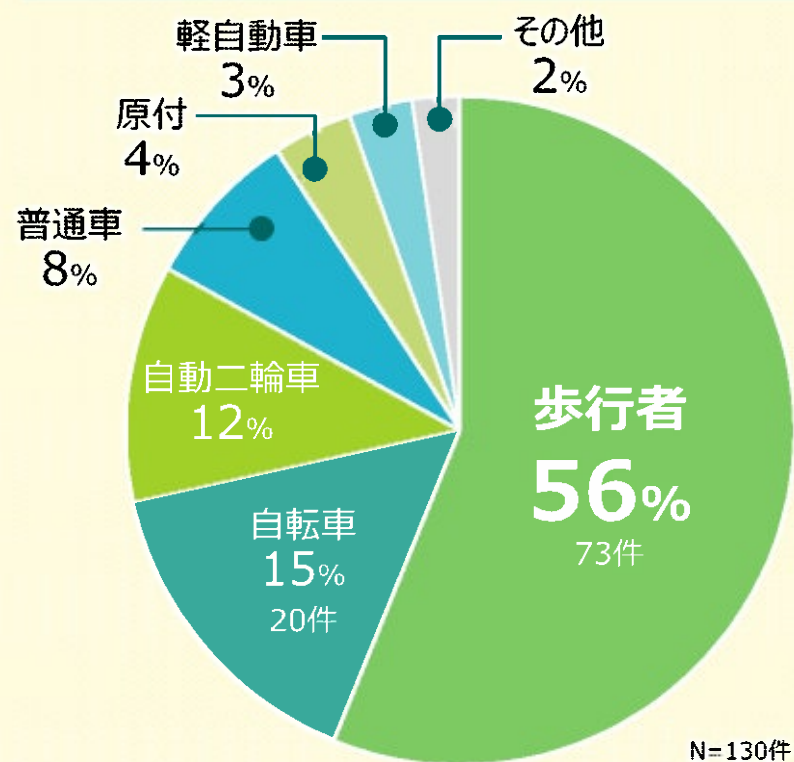


右折時

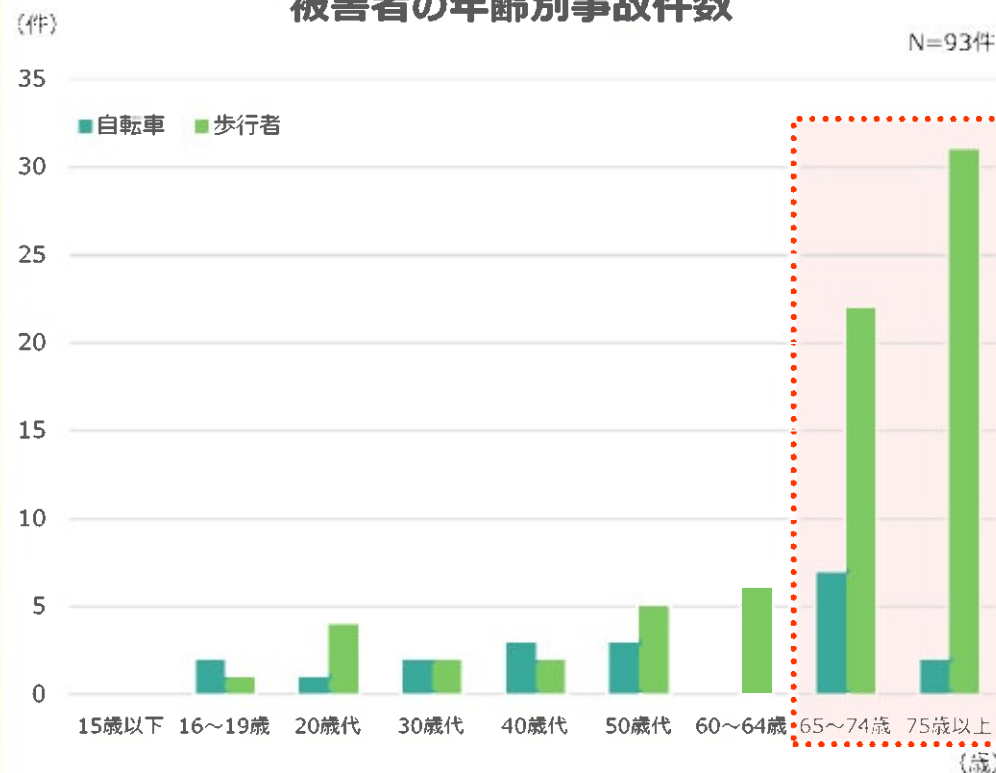
交差点「右折時」の死亡・重傷事故の被害者

右折時の死亡・重傷事故では**歩行者**との事故が**56%**
相手の歩行者は**65歳以上**が多く、自転車は**65～74歳**が多い

右折時の被害者分類



被害者の年齢別事故件数



対歩行者・自転車別死亡・重傷事故件数（全体）

交差点事故

交差点における対歩行者、対自転車の死亡・重傷事故（233件）は、
死亡・重傷事故全体（959件）の約24%を占める

- ← 左折時の死亡・重傷事故のうち、約7割が自転車（59件）
- ↑ 直進時の死亡・重傷事故のうち、約2割が自転車（36件）
- 右折時の死亡・重傷事故のうち、約5割が歩行者（73件）

左折時 N=81件

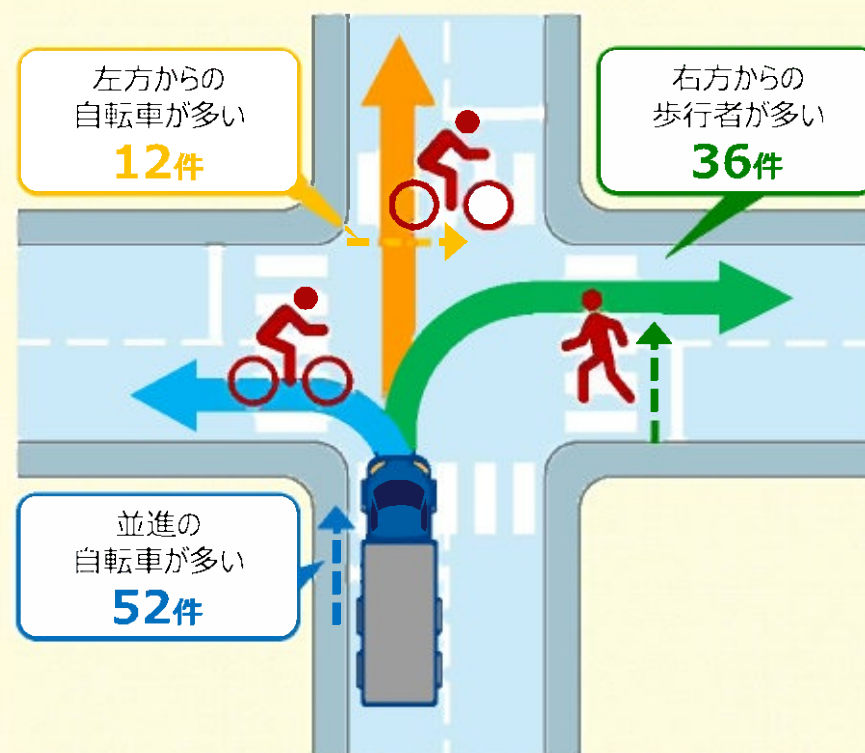
歩行者 12件 自転車 59件

直進時※ N=164件 ※発進、追越・追抜、進路変更、その他を含む

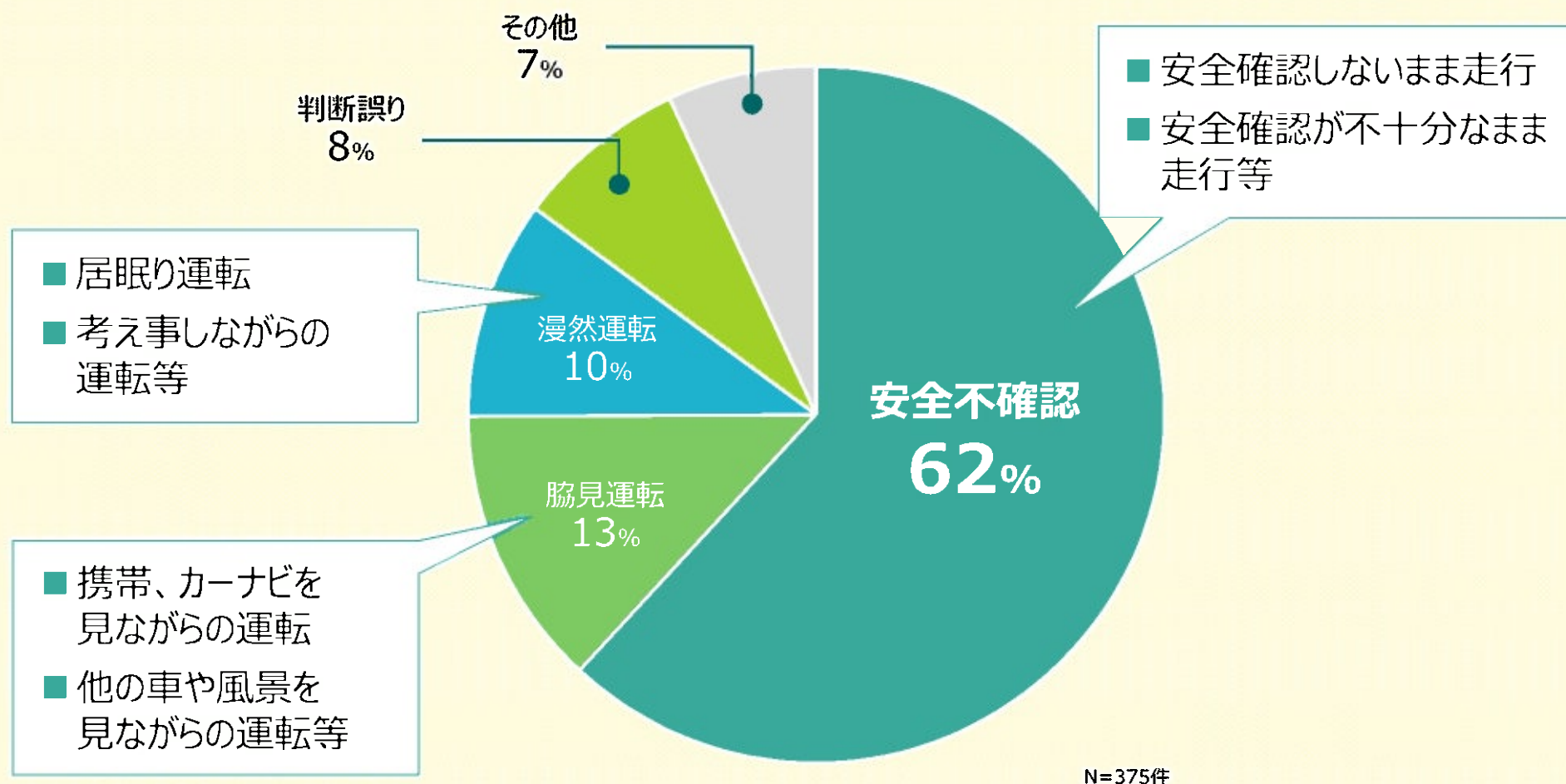
歩行者 33件 自転車 36件

右折時 N=130件

歩行者 73件 自転車 20件



交差点事故の原因は**安全不確認**が**62%**



安全確認（死角、トラックの特性）対策



トラック構造上の特性からくる要因

- 運転席が右側にあるトラックでは、左側方から左後方にかけてはほぼ死角となる
- 車長の長いトラックは内輪差が大きいので、バイク、自転車、歩行者の巻き込みに注意

1 トラックの死角対策

- 左折時は左ミラーの確認のみならず、左折を行う手前から左側にバイク、自転車、歩行者がいないか確認してから左折する

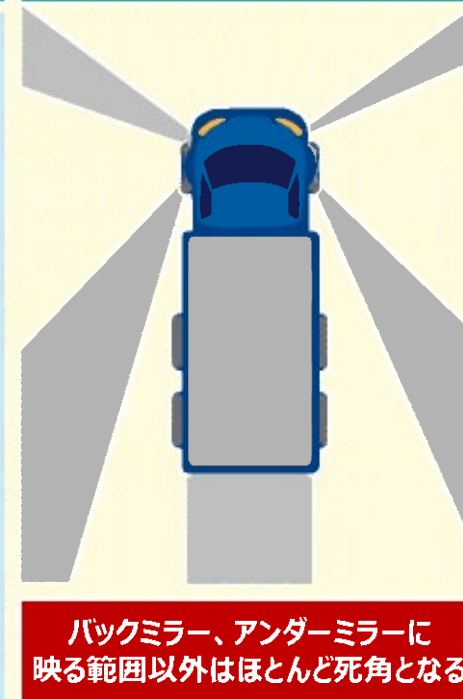
2 トラックの運転操作対策

- 左折時はセンターラインをはみ出て左折しないよう左端に寄り左折
- 右折時はオーバーハングを意識し、前方だけではなく、後方にも注意

トラックは内輪差が大きい



左側後方は死角が大きい



安全確認（住宅地・夜間）対策



交通環境による要因

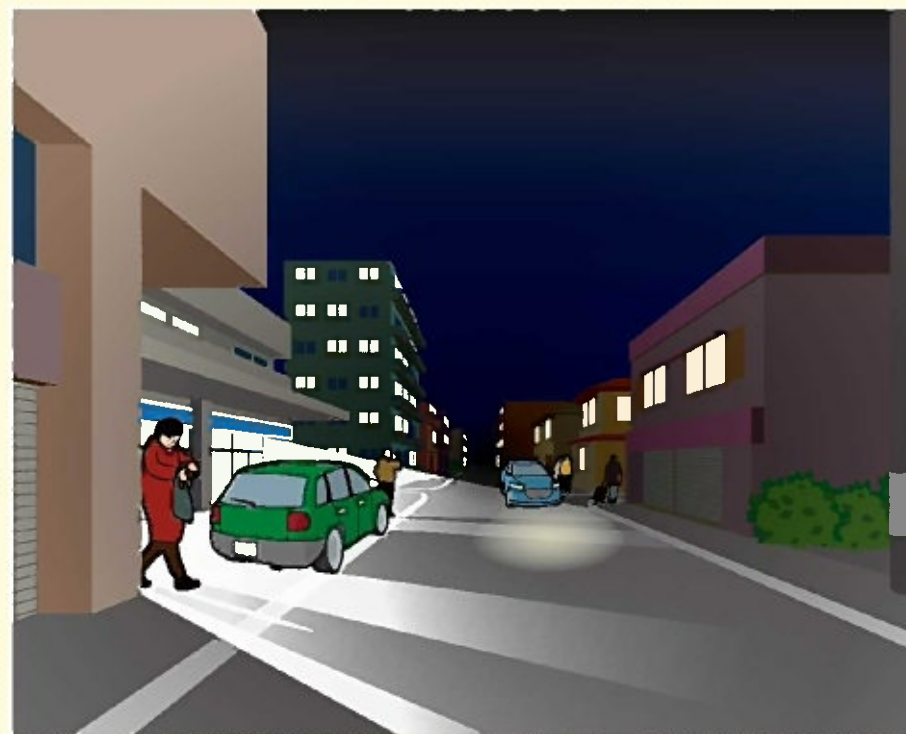
- 住宅地は交通量が少なく、警戒心が乏しくなりがちになるため、歩行者や自転車との接触事故が発生しやすくなる
- 夜間にコンビニ等の照明の明るさに目が眩惑され、歩行者や自転車の発見が遅れてしまうことがある

1 住宅地走行時の対策

- 交通量の少ない道路こそ、警戒心を欠かさず、歩行者や自転車の飛び出しを予見しながら走行

2 夜間走行時の対策

- 車のライトや街路灯があるからといって過信せず、夜間の運転は昼間と全く別の状況であることを意識して走行



安全確認（交差点進入時）対策



交差点による要因

- 交差点は元々自動車、自転車、歩行者等が多数の出入りがあり、注意を要する

1 交差点進入前の取組

- 左折時は並進の**自転車、二輪車**を確認
- 右折時は**対向車、死角となる二輪車、進行先の歩行者**の動向を要確認
- 横断歩道手前で、歩行者発見時は**徐行または一時停止**

2 交差点進入時：アクセルオフの実践

- 右足をアクセルから離し、エンジnbrakeで減速
- いつでもブレーキが踏めるよう、右足をブレーキの上に置いた状態で運転



資料 対歩行者・自転車別死亡・重傷事故件数（大型車）

交差点事故

交差点における対歩行者、対自転車の死亡・重傷事故は114件

← 左折時：自転車との接触が約86%

→ 右折時：歩行者との接触が60%

左折時 N=51件

歩行者

4件

自転車

44件

直進時※ N=74件

※発進、追越・追抜、進路変更、その他を含む

歩行者

15件

自転車

13件

右折時 N=50件

歩行者

30件

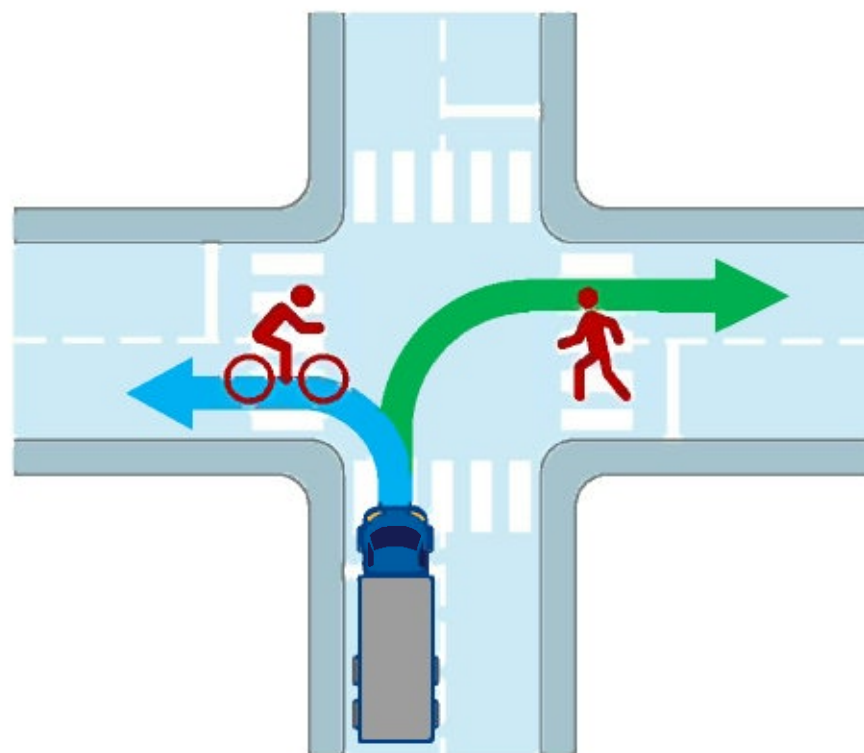
自転車

8件

車両区分の解説

大型車

車両総重量7,500kg以上



資料 対歩行者・自転車別死亡・重傷事故件数（中型車）

交差点事故

交差点における対歩行者、対自転車の死亡・重傷事故は100件

- ← 左折時：自転車との接触が50%
- ↑ 直進時：自転車との接触が約27%
- 右折時：歩行者との接触が約52%

左折時 N=24件

歩行者 6件 自転車 12件

直進時※ N=81件

※発進、追越・追抜、進路変更、その他を含む

歩行者 16件 自転車 22件

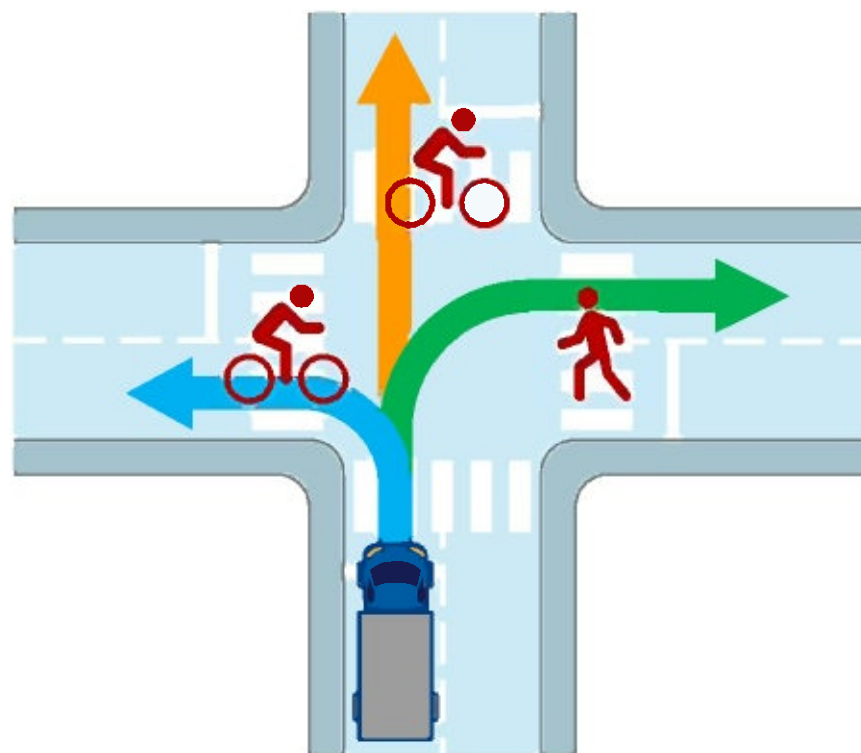
右折時 N=65件

歩行者 34件 自転車 10件

車両区分の解説

中型車

車両総重量3,500kg以上7,500kg未満



資料 対歩行者・自転車別死亡・重傷事故件数（小型車）

交差点事故

交差点における対歩行者、対自転車の死亡・重傷事故は19件

➡ 右折時：歩行者との接触が**60%**

左折時

N=6件

歩行者

2件

自転車

3件

直進時※

N=9件

※発進、追越・追抜、進路変更、その他を含む

歩行者

2件

自転車

1件

右折時

N=15件

歩行者

9件

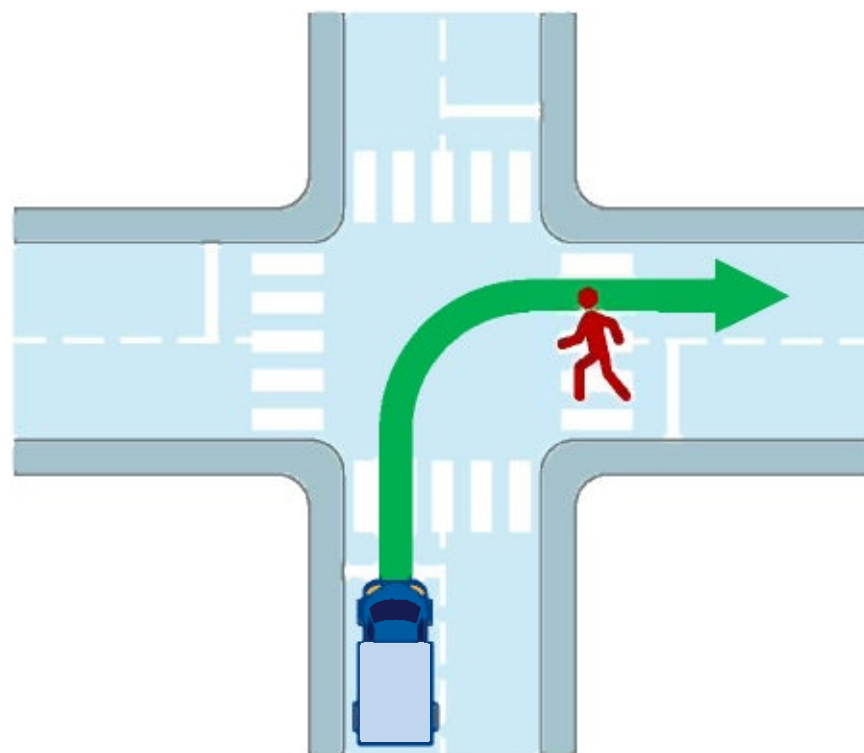
自転車

2件

車両区分の解説

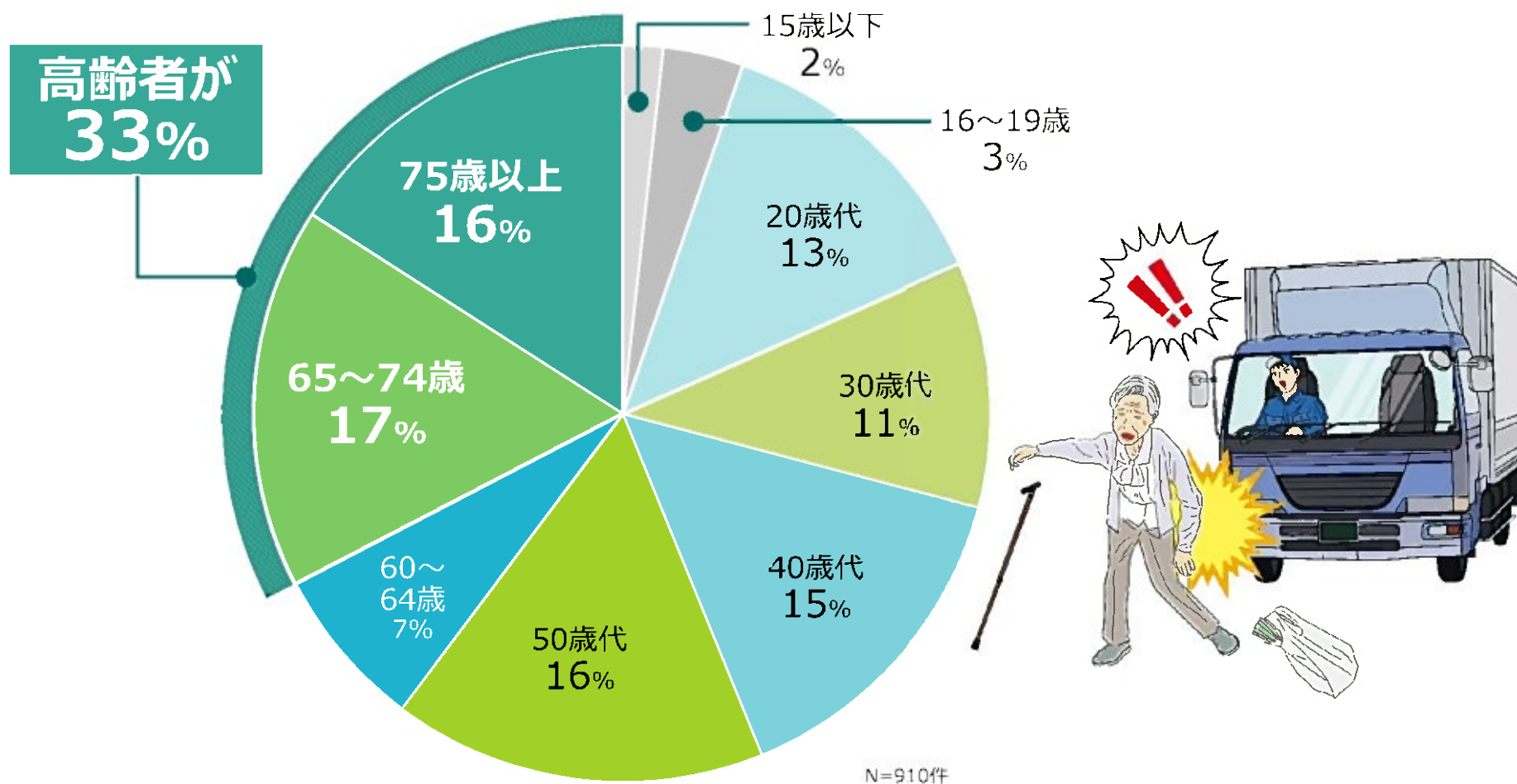
小型車

車両総重量3,500kg未満



コラム 事業用トラックによる死亡・重傷事故の相手方年齢層

死亡・重傷事故の被害者のうち、**65歳以上の高齢者が33%**

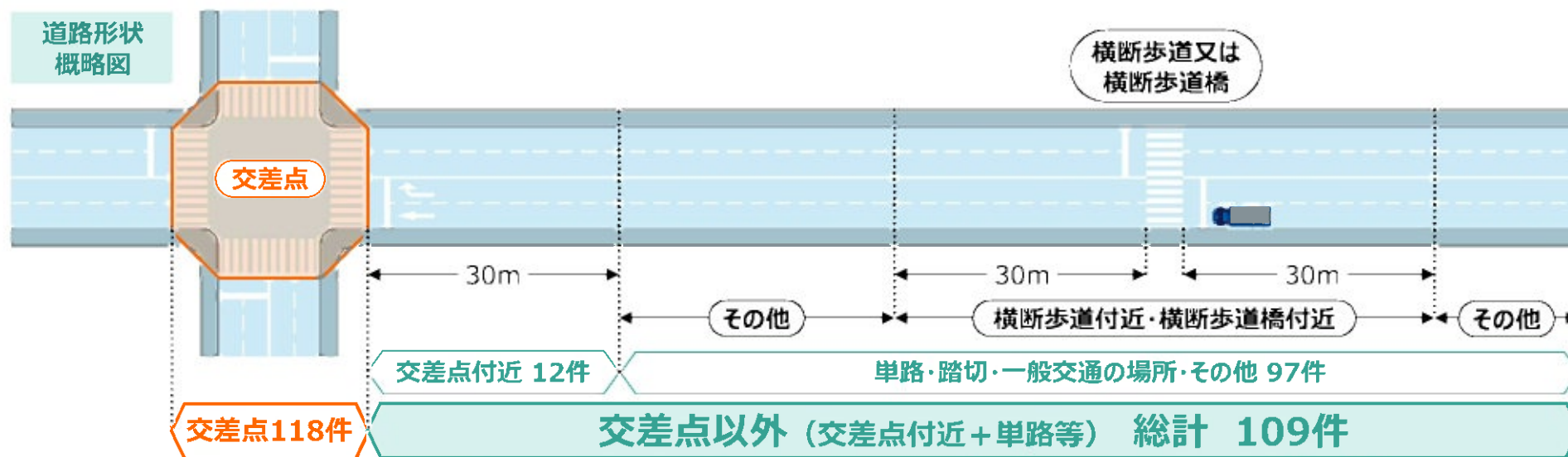


コラム 交差点以外での事故（相手歩行者の死亡・重傷事故）



一般道における対歩行者の死亡・重傷事故227件中、交差点での事故118件、
交差点以外での事故は109件と多くの死亡・重傷事故が発生

交差点以外を走行時は**夜間**に歩行者との接触による死亡・重傷事故が多い



事業用トラック車種		時間		歩行者年齢層	
大型	45件	日の出前後	16件	64歳以下	63件
中型	57件	昼間	34件	65～74歳	16件
小型	7件	日没前後	5件	75歳以上	30件
		夜間	54件		

※「交差点以外」での事故について、第一当事者（事業用トラック）が交差点に入る前、通過後の両方を含める

コラム 交差点以外での事故（相手自転車の死亡・重傷事故）



一般道における自転車の死亡・重傷事故204件中、交差点での事故115件、**交差点以外での事故は89件**と多くの死亡・重傷事故が発生

交差点以外を走行時は**昼間**に自転車との接触による死亡・重傷事故が多い

